

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念のもとに実践していたが、事業所の理念を検討している状況であった。	10月の運営推進会議に諮り正式な事業所の理念を作り実践していく。	10/22の運営推進会議にて賛同を得た為、事業所理念として「あったかい介護を目指す」①家庭的であたたかな雰囲気のある場所にする②地域の中で普通に暮らす生活をサポートする③季節を感じる暮らしを大切に。としてスタッフ全員に配布、施設内に掲示した。	1ヶ月
2	2	自治会がないために地域との繋がりを模索する中で、近隣の牧師さんとの交流が出来るようになってきたため、「認知症サポーター養成講座」の開催や、事業所として、成年後見など近隣へ発信していきたいと思っている。	「認知症サポーター養成講座」「成年後見制度」「消防訓練」など地域も巻き込んだ研修を行う。また、近隣の公園の掃除を定期的に参加する。	近隣の教会でのサポーター養成講座の開催、年間を通じた研修計画を作成し、近隣に発信していく。	6ヶ月
3	40	食事を楽しむ支援をしたいと考えていたが、認知症の症状や職員の関わり方の仕組みが出来ておらず、その場その場での関わりになっている。(ご利用者様の要望が聞けていないのではないか)	季節に合わせた食器を選び、盛り付けていただく。季節を感じる果物やおやつバイキングなどの楽しみを作る。一人一人の想いに寄り添った食事提供を検討していく。	ひとりひとりに合った食事量、水分量の見直すことで食事の嗜好も再度検討していく。3食の食事が楽しみになる工夫(季節の食器を選ぶことや五感を刺激する工夫)準備すること後片付けすることが普通に行われる生活環境を整えていく。	12ヶ月
4	4	家族交流会の参加者が少ない。	小旅行時にご家族も参加していただくことで交流を図る機会を作る。	4月にお花見の小旅行を企画しているので、ご家族も参加していただけるような内容にする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。